

ThinkPark Tower 様

館内物流から入退館受付業務までを受託 警備との連携で館内セキュリティー向上



2007年に開業した「ThinkPark Tower」。JR大崎駅に隣接する、この大型複合施設には数多くのオフィスや飲食店などが入居しており、一日当たりに入出荷される荷物の量は平均で2トントラック200台分に達します。物流各社がそれぞれ納品・集荷を行う体制では、周辺道路の渋滞を引き起こしたり、セキュリティー確保が困難になるとの判断から、同施設は開業と同時に、館内物流の一本化を実施。SBSロジコムはそのパートナーとして機能しております。

ThinkPark Towerに入居する各テナント企業から寄せられる荷物の所在に関する問い合わせに対して迅速に回答するため、専用の貨物追跡システムを導入しました。納品業者からの荷受け時、荷捌きスペースからの持ち出し時、テナントへの配達完了時に送り状のバーコードをスキャン。その情報を基に貨物の所在を明確にしております。また、チルド・フローズンなど温度管理が必要な荷物のために冷凍・冷蔵庫を設置しました。



ThinkPark Towerでの館内物流業務は各テナントへのデリバリー・集荷といった作業だけではありません。施設に出入りする納品業者の入退館受付の管理までを請け負っています。入館者にはICカードと臨時入館証を発行し、入館時間や退館時間を厳密に管理することで、施設内に不審者が侵入するのを防ぐなどセキュリティーの確保に努めています。

同施設を管理する世界貿易センタービルディング様からは、「納品業者の入館を制限すると、セキュリティーレベルが向上する半面、テナントの皆様には荷物を荷受けスペースまで取りにきてもらわなければならないなど利便性が低下してしまう。この問題を解消するため、館内物流の一元管理を導入することにした。テナント企業からも好評」（尾嶋一雄 ThinkPark 事業部部長）という評価をいただいております。

